

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                |    |             |
|----------------|----------------|----|-------------|
| ○事業所名          | 放課後等デイサービス りーふ |    |             |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年2月15日      |    | ～ 令和7年3月31日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)         | 29 | (回答者数) 17   |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年2月15日      |    | ～ 令和7年3月31日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)         | 10 | (回答者数) 10   |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年4月1日       |    |             |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等                              | さらに充実を図るための取組等                        |
|---|--|--|---------------------------------------|
| 1 | 子どもや保護者との意思疎通や情報共有                         | 送迎時や連絡帳での情報共有をおこない、日頃から子どもの健康や発達の状況について保護者と伝え合っている | 職員の資質向上を図るため、保育士等の資格取得支援や研修等の受講を促している |
| 2 | 活動等のスペースが確保している中で基準以上の職員を配置していること          | 利用児童数や児童の特性に合わせた職員の配置を柔軟に対応している                    | 長きにわたり安定した支援をおこなうため、職員定着率を高めている       |
| 3 | 生活空間が清潔で心地よく過ごせる環境になっていること                 | 日々の清掃や消毒、来所時の健康チェック                                | 感染症等のまん延防止の対応として、対策を検討する委員会の定期的な開催    |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等           | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                      |
|---|--|-----------------------------|---|
| 1 | 施設のバリアフリー化                                 | 構造的にバリアフリー化が難しい部分もある        | 除去可能な障壁は順次取り除いている<br>段差のある場所は付き添い介助       |
| 2 | 地域との連携が弱い                                  | 地域の他の子どもと活動する機会がなく、近隣住民も少ない | 日頃からの関わりを大切にしながら関係を深め、少しでも連携できることを検討し実施する |
| 3 |  |                             |   |